

## <29年度事業計画> 法人全体の運営と事業

法人全体の運営と事業を実施します。

項目	<b>「第12回通常社員総会」開催</b>
内容	2016(平成28)年度の事業報告、決算報告、会費報告、2017(平成29)年度の事業計画、収支予算等の報告を行う
概要	【日時】 2017(平成29)年5月14日(日) 15:00～16:30 【会場】 しいの実シアター

項目	<b>理事会開催</b>
内容	理事会を開催し、NPOの運営について協議する。

項目	<b>会員親睦交流会の開催</b>
内容	総会に引き続き、会員手作り料理で会員親睦交流会を開催する。
概要	【日時】 2017(平成29)年5月14日(日) 17:00～19:00 【会場】 しいの実シアターロビー

項目	<b>やくもネット事務局とポータルサイトの運営</b>
内容	やくもネットの事務局として、八雲町内各団体の運営を支える活動を行う。 八雲町の情報発信ツール「ようこそ八雲へ」での情報発信を行う。

項目	<b>島根演劇ネット事務局</b>
内容	島根演劇ネットの事務局として、運営を支える活動を行う。 島根文化団体連合会の加盟団体として、「次世代育成事業」の事務局も行う。 「蓮行氏のワークショップリーダー養成講座」を企画し、島根県内のワークショップ指導者養成に努める。

「コミュニケーション力をつけたい」といった学校や企業からの要望に応じて実施します。

以下は、4月末日までに依頼のあったところです。

① 学校		実施月日	実施場所	従事者	受益者
講師	島根県立大学短期大学部 保育学科	H29/4/6	県立大学短期大学部 体育館1F 講義室	2名	52名
講師	島根県立大学短期大学部 「表現とコミュニケーション」講座(前期)	H29/4/10～ 7/3 13回	県立大学短期大学部 体育館アリーナ	のべ39名	のべ686名
講師	島根県「文化芸術次世代育成支援業」 松江市長八雲小学校 1、2、3年生(計27回)	H29/6/8～ H30/1/26	松江市 八雲小学校	のべ81名	のべ492名
講師	島根県「文化芸術次世代育成支援業」 松江市長八束学園 3、4、5、6年生(計8回)	H29/6/6～12	松江市 八束学園	のべ12名	のべ270名
講師	島根県「文化芸術次世代育成支援業」 島根県立出雲養護学校高等部(計6回)	H29/7/10～ 12/4	出雲市 出雲養護学校	のべ12名	のべ120名
講師	島根県「文化芸術次世代育成支援業」 飯南町立頓原中学校(計4回)	H29/6/14～ 9/未定	飯南町 頓原中学校	のべ4名	のべ 50名
講師	島根県「文化芸術次世代育成支援業」 浜田市立原井小学校(計6回)	H29/6/7～ 9/21	浜田市 原井小学校	のべ6名	のべ100名
講師	島根県「文化芸術次世代育成支援業」大 田市立久手小学校 ひまわり、3、4、5、6年生(計12回)	H29/6/20～ 12/6	大田市 久手小学校	のべ18名	のべ270名

② 企業、地域、PTA、その他		実施月日	実施場所	従事者	受益者
講師	八雲町児童センターどんぐり館 ファミリーサークル(小学生)	H29/5/20	八雲町児童センター どんぐり館	1名	20名程度
講師	八雲町児童センターどんぐり館 在宅母子と作業所メンバー	H29/5/24 H29/12/1	八雲町児童センター どんぐり館	のべ4名	30名程度
講師	松江市民大学 健康コース	H29/5/25	松江市 市民活動センター	2名	50名程度
講師	山陰合同銀行文化財団 尚風館ワーク	H29/6/24 H29/7/1	松江歴史館指南所 しいの実シアター	のべ2名	40名程度
講師	松江いのちの電話	H29/7/8	しいの実シアター	1名	20名程度
講師	(公財)島根県看護協会	H29/11/18	島根県 看護研修センター	1名	30名程度
講師	出雲市看護協会	H29/6/17	斐川町文化センター	3名	130名程度
講師	県委託 保育士ワーク(東部)2回	H29/7/19.11/30	しいの実・かやぶき	のべ4名	80名程度
講師	県委託 保育士ワーク(西部)2回	H29/7/26.12/7	浜田市いわみーる	のべ4名	60名程度

< 29年度事業計画 > **しいの実シアターの管理運営事業**

平成29年度も、公演事業、人材養成事業、普及啓発事業の3事業を推進します。

< 公演事業 >

事業名	<b>あしぶえ公演 「ゼロ弾きのゴーシュ」</b>
助 成	文化庁 平成29年度劇場・音楽堂等活性化事業
趣旨・目的	平成元年からロングラン公演を続けてきた「ゼロ弾きのゴーシュ」は、平成28年度公演で大きく深化した。今回初の試みとして、島根県聴覚障がい者情報センターの協力により、字幕映像等による耳の聞こえにくい人にも作品を楽しんでもらえるよう工夫を行う。<しいの実シアターの宝>に仕上げるため、再度の想像的挑戦を実施し、海外公演につなげていく。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 演出家による作品解説を行い、普及啓発を行っていく。</li> <li>② 在住の外国人の感想等をもとに、外国人にも理解しやすい作品に仕上げる。</li> <li>③ 会場最寄バス停から劇場まで送迎を行い、集客しやすくする。</li> <li>④ 島根県聴覚障がい者情報センターの協力を得て、聴覚障がい者にも稽古見学をしてもらい、より理解を深めるための参考意見を求め、作品に活かす。</li> <li>⑤ 11月2～5日に開催する「松江・森の演劇祭2017」にも出品し、国内外の観客にも提供する。</li> </ul>
概 要	<p>【期間】平成29年6月～7月に6回、11月に1回（全7回）</p> <p>【会場】しいの実シアター</p> <p>【対象】5歳児から高齢者まで</p> <p>【演目】「ゼロ弾きのゴーシュ」</p> <p>【作】宮沢賢治</p> <p>【スタッフ】園山土筆（演出） 斉藤浩（作曲・歌唱指導） 稲田道則（照明） 八木謙人（英語台本） 永野むつみ（人形操作指導） 喜久里 誼 （チェロ演奏指導） 八幡垣睦子、八幡垣志保（衣裳） 清水きよし （マイム指導） 前村晴奈（音響） 福井健吾（舞台監督） 須山美玲（企画制作）</p> <p>【出演者】（専属劇団員） 有田美由樹、松浦優海、門脇礼子、中村千恵子、 伊達生、上田郁子、原敬彦、（地元俳優） 原田雅史</p> <p>【観客数】800人程度</p>
特記事項	「松江・森の演劇祭2017」でも、日英混合台詞の「ゼロ弾きのゴーシュ」を上演する予定。

<人材養成事業1>

事業名	<b>アートマネジメント講座</b>
助 成	文化庁 平成29年度劇場・音楽堂等活性化事業
趣旨・目的	<p>松江市においては公立施設適正化計画が策定され、利用率等の低い多数の施設は廃止、無料譲渡、民間買い上げなど厳しいプランが実施されつつある。しいの実シアターについては、今までの様々な努力が奏功してこの適正化計画の中には含まれていない。しかしながら、人口減、少子化、高齢化の未来に対応するためには、常に継続してアートマネジメント力の向上を図らなければならない。そこで、29年度は劇場スタッフや専属劇団員、演劇祭ボランティア・クルーの学びの場として、</p> <p>①舞台監督講座、②照明講座、③表方講座、④地域のフェスティバル視察を実施して力をつけていく。</p>
期待される効果	<p>劇場で働く職員として意欲的に参加できる内容であるため、相互の意見交換が活発に行われ、今後の劇場経営に役立つと予想される。</p> <p>フェスティバルについての講座は、演劇祭開催について、歴史を重ねている沖縄のフェスティバルから多くを学べると期待する。</p>
概 要	<p>【期間】平成29年5月～7月 平成29年7月～8月</p> <p>【会場】①②③はしいの実シアター ①は、沖縄・那覇市りっかりっかフェスタ各会場</p> <p>【対象】①②は劇場スタッフ、専属劇団員 ③は国際演劇祭クルーでプロ化を目指す意欲的なメンバー ④劇場スタッフ、国際演劇祭クルーでプロ化を目指す意欲的なメンバー</p> <p>【講師】① 三木元太（東京演劇アンサンブル舞台監督・舞台美術家） ② 大上勝己（アースオール株式会社） ③ 永野むつみ（人形劇団ひぼぽたあむ代表） ④ 下山 久（りっかりっかフェスタプロデューサー）</p> <p>【受講生】①～③ 各々10～15人程度 ④ 5名程度</p>
特記事項	④のみ沖縄に出かけての実施

<人材養成事業2>

事業名	<b>第5回ワークショップ指導者養成講座</b>
助 成	文化庁 平成29年度劇場・音楽堂等活性化事業
趣旨・目的	近年、小・中・大学へ出向いて痛感することは、どの年齢層も年々幼さが増し、「待ちの姿勢」が多く見られ、自ら能動的に他者に関わる力が著しく低下傾向にあるということだ。また、子どもたちの日々の暮らしの中でインターネットの弊害が顕著に表れている。こうした社会課題に対応するために、アーティストによる「表現・コミュニケーション力育成」の活動を継続していくことは大変重要なことである。28年度に新講師として迎えた劇団衛星・代表の蓮行氏を今年度再度招聘し、指導者養成に努めたい。
期待される効果	<p>① 指導者養成には時間がかかるが、学校の先生方にも参加いただき、現場にも役立ててもらえることも念頭において、広報したい。</p> <p>② 継続して参加してもらっている方々に、実践の機会を持ってもらうことも検討したい。</p>
概 要	<p>【期日】平成30年1月または2月 (2日間)</p> <p>【会場】しいの実シアター</p> <p>【講師】蓮行 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任研究員) 演劇の社会教育に着目し、未就学児から社会人まで幅広い人を対象に、多くの演劇ワークショップを手掛ける。 専門は演劇、演劇教育、文化政策。</p> <p>【カリキュラム】実践も含めた、講座形式。</p> <p>【受講生】15人程度</p>
特記事項	島根演劇ネットとの連携事業

<人材養成事業3>

事業名	<b>大学等との連携</b>
助 成	文化庁 平成29年度劇場・音楽堂等活性化事業
趣旨・目的	<p><b>①インターンシップの実施</b> 若い世代が劇場業務や芸術活動等を学ぶことで、劇場や文化芸術に対してより高い関心を持つことができる。この取組の継続で、今後の劇場関係者や演劇鑑賞者の増加を図り、しいの実シアターの活動を広める。</p> <p><b>②講師等の派遣</b> 島根県立大学短期大学部から、就職後3年未満の離職率が高いのはコミュニケーション力の低下にあるとして指導依頼があった。</p>
期待される効果	<p><b>①インターンシップの実施</b> プロスタッフ、もしくはボランティアスタッフとして劇場運営に加わってくれる優秀な人材を見つけることができる。</p> <p><b>②講師等の派遣</b> 表現・コミュニケーション力育成授業を実施することにより、大学生の意識が変わり、各自が自分の意見を持ち、他者に伝える力を学ぶことができる。演劇に興味関心を持つ機会となる。</p>
概 要	<p><b>①インターンシップの実施</b> 平成29年7月～9月、平成30年1月 しいの実シアター(2回程度) 【カリキュラム】 劇場運営やアートマネジメントに興味を持っている大学生を受入れ、5日間、劇場の業務を体験してもらい、日々意見交換を行う。夏休みと春休みに実施する。</p> <p><b>②講師等の派遣</b> 平成29年4月 (1回) 保育学科のみのワークショップ 50名 平成29年4月～7月 毎週月曜日 9:00から12:10(計13回) 総時間数:52時間 島根県立大学短期大学部 体育館アリーナ 学生数:保育学科50名程度、健康栄養学科10名程度 講師:園山土筆、有田美由樹、前村晴奈、岩本桃子 【カリキュラム】 社会での「就業力」育成の準備段階として、良好な対人関係を構築するためにインプロゲームのワークショップを実施する。毎回、課題への取組と、自分自身の変化についての振り返りを実施することにより、自分の得手不得手を知り、キャリア形成に必要な自己表現力、コミュニケーション力を身につける。</p>

<普及啓発事業1>

事業名	しいの実シアター未来学校（第1期 2年度）
助 成	文化庁 平成29年度劇場・音楽堂等活性化事業
趣旨・目的	<p>急速な勢いで進行する少子化。目まぐるしいスピードで進む ICT 化。その中で子どもたちの暮らしは大きく変化した。かつては自然の中で工夫を凝らし次々と新しい遊びを考え出し、日の暮れるまで走り回っていた子どもたち。</p> <p>つまり&lt;自ら出かけて行って、自分の目で見て、感じて考え、自ら決めて行動し、時に失敗してまた考えてはやり直してみる&gt;ことなど。キーボードを叩いて得た知識だけでなく、自分の身体と心をフル回転させて、子ども時代にしか味わえない感動や充足感を創り出すこと。こういうことが何より重要ではないかと劇場スタッフは数年考え続けた。そして、昨年、未来学校第1期初年度を開校、期待以上の成果をみることができた。29年度は第1期2年目として「芸術体験」「暮らし体験」の2本立てを継続する。</p>
期待される効果	<p>初年度の参加者保護者アンケートでは「芸術体験」「暮らし体験」の両方において、子どもたちの前向きな変化の様子が多く報告された。順次事業を展開していくことで、将来はしいの実シアターを子どもたちだけで、運営できるようなシステムを創っていくことができる。</p>
概 要	<p>【期間】平成29年7月15日（土）～17日（月・祝）3日間  【会場】しいの実シアター、かやぶき交流館  【対象】開校2年目は、小学4年生から中学生まで12名程度  【上演作品】人形劇団ひぼぼたあむ「チップとチョコ」を上演  【人形操作講師】人形劇団ひぼぼたあむ 代表 永野むつみ  【コミュニケーションワーク講師】有田美由樹  【カリキュラム】人形を手にはめて、セットの中で実際にやってみる。簡単そうに見えていたものが、実は相当な技術が必要であることを知る。うまくなるためには、どんな力を習得すればいいかを知る。</p> <p>【受講生】12名程度  【観客数】70名程度</p>
特記事項	<p>・「チップとチョコ」は、近隣の幼稚園、保育園からも集客し、一般観客も誘客する。</p>

<普及啓発事業2>

事業名	<b>シェイクスピア入門講座</b>
助 成	文化庁 平成29年度劇場・音楽堂等活性化事業
趣旨・目的	<p>シェイクスピアに向き合い理解の目を向けることは、国際演劇祭を開催している劇場スタッフにおいて、非常に重要なことである。演劇創造においても、古典、現代劇、児童劇、創作劇などの分野の作品を創るにしてもシェイクスピアの「言葉の力」や「観客の想像力を利用する作風」は、大きな学びの対象となる。また、一般市民においても実は、「生きるときの人生の支え」となるものである。しかし、当地においてシェイクスピアを学ぶ機会はほとんど無いに等しい。清泉女子大学元学長の門野泉氏は、長年シェイクスピアの研究に携わり、しかも、多くの人にシェイクスピアの面白さ、深さを伝えたいと熱望されておられる。</p> <p>入門編として実施する。</p>
期待される効果	門野泉氏の講座は、東京周辺で度々開催されており、そのわかりやすさ、面白さ今の時代に起こっている様々な問題とどのようにつながっているのか、などの分析の楽しさには定評がある。満足度の高い結果が得られると思う。
概 要	<p>【期日】 1回目：平成29年11月2日（木）～5日（日）のいずれか1日 2回目：平成30年1月～2月（2日間）</p> <p>【会場】 1回目：平原会館 2回目：しいの実シアター</p> <p>【講師】 門野 泉氏</p> <p>【受講生】 のべ40人程度</p>

<自主事業>

事業名	<b>演劇公演事業 松江地区高校演劇合同公演</b>
趣旨・目的	松江地区の各高校演劇部の生徒が合同で演劇作品を上演し、生徒同士が交流し、同級生や保護者に提供する。シアターの開館以来、年1回発表の場として定着している。29年度からは、よりきめ細かく支援していく。
期待される効果	<p>演劇は大劇場で観るものではなく、最高300人までの小ホールで観ることが最良であることを知り、小劇場の良さを満喫することができる。</p> <p>高校生自身で照明、音響のオペレーションを担当し、表方もして「自分たちの劇場」のように活動体験できることが大きな財産となる。</p>
概要	<p>【日程】 平成30年3月17日（土）～18日（日）</p> <p>【内容】 松江地区の高校演劇部が合同で公演に取り組む。</p> <p>【観客数】 200人程度</p>

その他、貸館事業を推進します。



**「しいの実シアター」と連携して、地域振興の「核」を目指す**

指定管理者となって3年目となる29年度からは、「かやぶき交流館」が地域振興の核の一つとなることを目指す。

「しいの実シアター」を主会場に、1999年から通算6回開催してきた「八雲国際演劇祭」を、11月2日から5日まで開催するが、「松江・森の演劇祭」という新名称に変更することが決定した。

この名称変更に伴い、「しいの実シアター」「かやぶき交流館」「平原会館」「平原農村公園」の4つの施設を「森の演劇祭エリア」と設定し、同じ町内にある「アルバホール」「八雲公民館」「八雲中央公園大型駐車場」を加えて祝祭感を演出して、松江市全体のフェスティバルとして発展していくことを目指す。

この演劇祭は、0歳から大人までの誰でもが楽しめるフェスティバルだが、今後は全国・海外への広報にも力を入れて本格的な集客を始動させる。この企画はかやぶき交流館にとって、国内外のアーティスト、観客、行政関係者、演劇関係者の来訪により知名度・利用度の向上に繋がる。

公立施設の適正化計画が進められているが、「かやぶき交流館」が単独で努力するだけでなく、複数の施設が良好な連携運営を行うことによってポジティブな発想による適正化計画の見本となるよう努力したい。

「松江・森の演劇祭」は、インバウンドにも大きく貢献すると確信しているが、同時に「かやぶき交流館」の好感度も高まるはずだ。

項目	「かやぶきレストラン」の運営
内容	「松江・森の演劇祭」では、内部をレストランとして使用する。 最近では高齢者でも畳を敬遠する傾向にあるため、畳の上にパンチカーペットを敷き詰めて椅子とテーブルをセットし、木の実と草花で飾り、コーヒーとフルーツケーキとおしゃれな食事を提供して、クオリティの高い昼食空間を演出し、かやぶき交流館のイメージアップを図る。
概要	【日時】 2017(平成29)年11月3日(金・祝)～5日(日) 【会場】 かやぶき交流館

項目	「かやぶきマルシェ」の運営
内容	「松江・森の演劇祭」で、駐車場をマルシェとして使用する。 テントを張って23店舗のマルシェを開催し、軽食とクラフト作品等を提供する。
概要	【日時】 2017(平成29)年11月3日(金・祝)～5日(日) 【会場】 かやぶき交流館

項 目	<b>「鯉のぼりイベント」にあわせての連携事業</b>
内 容	八雲町では4～5月、地元の「八雲ゆう人会」が中心となって日吉地区の意宇川に鯉のぼりを掲揚するイベントが開催される。昨年より町内の各施設、団体に鯉のぼりセットを提供し、各地域で鯉のぼりの掲揚協力を求めている。当施設も自費で、掲揚ポールを設置、掲揚した。他団体と連携をとることにより集客につなげることができている。29年度は、新規にスタンプラリーが実施されることになったため、ラリー会場としても協力する。また、5月5日の「こどもの日」は、日吉親水公園のイベントに出店して、カレースープやグッズ販売を行う。
概 要	【日時】 2017（平成29）年4月～5月 鯉のぼり掲揚、スタンプラリー実施 【会場】 かやぶき交流館 【日時】 5月5日（祝）出店 【会場】 八雲町・日吉親水公園

項 目	<b>「ゼロ弾きのゴーシュ」公演時にレストラン運営を</b>
内 容	しいの実シアターで上演される「ゼロ弾きのゴーシュ」の観劇前後に、かやぶきへの集客を目指す。「松江そば打ち研究会」の協力により、蕎麦の昼食を提供する。これに合わせて、コーヒーや菓子等の提供も行う。
概 要	【日時】 2017（平成29）年6月18日、7月2日、7月23日（いずれも日曜日） 【会場】 かやぶき交流館

項 目	<b>「来て！見て！やくも収穫祭」開催にあわせての連携事業</b>
内 容	実行委員会に参加し、ランチ&カフェを実施する。
概 要	【日時】 2017（平成30）年11月12日 【会場】 かやぶき交流館

項 目	<b>「かやぶきのひな祭り」を開催</b>
内 容	ひな人形を飾って、花もちづくり等のワークショップ、カフェ・物販などを実施する。
概 要	【日時】 2018（平成30）年2月～3月 【会場】 かやぶき交流館

項 目	<b>「趣味の活動」事業を開催</b>
内 容	和紙を繊細に切って、昆虫や様々な絵柄を表現する「きり紙あそび」講座を開設する。また、羊毛を使って果物や野菜、動物等を創る「チクチクあそび」講座を開設する。
概 要	【日時】 2017（平成29）年6月～8月 第2土曜日 【会場】 かやぶき交流館

上記事業のほか、貸館事業にも力を入れて利用者増に努めます。

## <29年度事業計画> 松江・森の演劇祭の運営に関わる事業

松江市全体のフェスティバルとして発展していくことを目指す

「八雲国際演劇祭」は、「松江・森の演劇祭」という新名称に変わることになりました。この演劇祭は、0歳から大人までの誰でもが楽しめるフェスティバルですが、今後は全国・海外への広報にも力を入れて本格的な集客を図ってインバウンドにも貢献し、松江市全体のフェスティバルとして発展していくことを目指します。

今年の主演は「きりん」と「ぶすぶす」!!!

大人気だった「ひつじ」の次は「きりん」です。日本初演です。この演劇祭から日本全国に波及するでしょう。

また、スイスの「ぶすぶす」は、驚くばかりの身体表現で、観客を感動と笑いの世界へ誘い込むでしょう。

事業名	松江・森の演劇祭2017	分野	演劇
助成	文化庁 平成29年度 劇場・音楽堂等活性化事業		
連携	兵庫県豊岡市・豊岡市民プラザ、善通寺市・四国学院大学		
趣旨・目的 期待される効果	<p><b>【趣旨・目的】</b></p> <p>平成11年から3年に1度開催してきた「八雲国際演劇祭」は、限りある予算の中で最大限の努力を払ってきた結果、回を重ねる毎に観劇者数、好感度も上がって来た。そして、「第5回」では、マルシェを開催することで、演劇愛好者以外の来場も増え、演劇祭へ初めて来た人は全体の70%にのぼった。</p> <p>しかし、依然として多くの松江市民にとって自分たちの街の演劇祭だという認識にはなっていない。そのため、今回から表記の名称に変更し、松江市を代表する演劇祭に育てていき、国内外への広報にも力をいれていきたい。</p> <p>また、「子育てしやすい松江」だからこその特長をもった演劇祭として、子どもから高齢者までが満足する演劇祭となるよう企画・運営していく。</p> <p><b>【期待される効果】</b></p> <p>①演劇祭の名称変更は、一般市民の意識を変え、松江市中心部の企業、商店の意識も変えていく。また、メインビジュアルデザインもより親しみやすいものに変えることで、演劇祭の認知度を高めていく。これらにより、演劇祭運営が広がっていく。</p>		

	<p>②観劇年齢に広がりを持たせるため、0歳から鑑賞できる作品を選定したことにより、ファミリー層の集客に広がりを持たせることができる。</p> <p>③新たに女性ボランティアの力を結集してポスター貼付チーム、チラシ及びショップカード配布チームを作り、松江市全域及び近隣市への広報を拡大することによって認知度と集客数が増加する。</p> <p>④県内外の在住外国人の顧客名簿を整備・広報することで外国人を誘客することができる。</p> <p>⑤毎回実施しているファンディング担当者を2名から4名に増員するため、寄付金額が向上する。</p>		
実施期間	平成29年11月2日(木)～5日(日) 5ヵ国 14集団 15作品 (無料公演含む)		
会場	しいの実シアター、アルバホール、八雲公民館、平原会館、かやぶき交流館		
入場料	大人(19歳以上) 1,500円～2,000円      子ども(18歳以下) 500円～1,000円		
入場・参加者数	参加者数      観客数		
主なスタッフ	<p>【プロデューサー】園山土筆    【アシスタントプロデューサー】前村晴奈、丹治晴香</p> <p>【舞台監督・舞台・照明・音響】(株)篠本照明、吉中詩織</p> <p>【通訳】八木謙人、原田亮、ジェフ・リッポールド</p>		
上演	スイス	カンパニア・バツカラ	ぶすぶす
	フランス	ポリーナ・ポリソヴァ	GO!
	スペイン	シリキテラシアター	きりん
	ドイツ	タレイアスカンパニー	レッドくんのもくようび
	日本	エーシーオー沖縄	沖縄燦燦
	日本	人形劇団ひぼぼたあむ	「かえるくんかえるくん」「ハリネズミと雪の花」
	日本	あしぶえ	「ゼロ弾きのゴーシュ」
	日本	くらしき作陽大学子ども教育学部 児童文化部ばれっと	「おすわりくまちゃん」
	日本	チリンとドロン	「チリンとドロンのコンサート」
	日本	清水きよし	「マイムファンタジー」
	日本	人形劇団むすび座	「父と暮らせば」
	日本	地元劇団等	無料公演3作品

29年度も、サポート会の皆様のご協力により、法人運営を進めていきます。

項目	<b>サポート月例会</b>
内容	サポート会の活動について話し合います。
概要	【日時】 毎月第1月曜（予定） 【会場】 しいの実シアター

項目	<b>NPO会員親睦交流会のサポート</b>
内容	サポート会事務局メンバーと劇団員が第12回総会終了後、NPO正会員の方などを対象に親睦交流会を企画、開催します。 おもてなしの心を大切にしてつくる手づくり料理もお楽しみに。
概要	【日時】 2017(平成29)年5月14日(日) 【会場】 しいの実シアター・ロビー

項目	<b>「セロ弾きのゴーシュ」の公演サポート</b>
内容	受付、もぎり、当日券販売、場内案内、グッズ販売、駐車場誘導などをサポートしていただきます。
概要	【日時】 あしぶえ創立50周年記念公演「セロ弾きのゴーシュ」 2017(平成29)年6月18日、7月2日、23日（いずれも日曜日）

項目	<b>しいの実シアター草刈りのサポート</b>
内容	しいの実シアター敷地内の草刈りをサポートしていただきます。
概要	【日時】 2017(平成29)年 初夏

項目	<b>「落ち葉集め」エコ活動のサポート</b>
内容	敷地内の落ち葉を集めて、松浦造園(株)に回収してもらい、シアター樹木の施肥に活用する作業。サポート会、正会員、一般の方の協力を得て、毎年開催。
概要	【日時】 2017(平成29)年12月